

令和3年度生活習慣病検診等管理指導懇話会胃がん部会 会議録

1 会議の日時及び場所

- (1) 日時 令和4年3月29日(火) 13時30分から15時00分まで
- (2) 形式 オンライン開催

- 2 出席委員の氏名 青山 伸郎 河野 昭博 熊谷 仁人
(敬称略) 坂本 泰三 三輪 洋人 計5名

3 協議

- (1) 胃がん検診の実施状況について
- (2) その他

4 議事の要旨

- 開会
- 挨拶

〈田所参事〉

事務局：次に、お手元の資料の確認を致します。

〈資料確認〉

事務局：次に、本日ご出席いただいている委員の皆様を紹介させていただきます。

〈委員紹介〉

事務局：本日の部会では、市町のプロセス指標のバラツキをなくしていくため今後における精度管理のありかた等について議論していただきたいと考えています。いただいたご意見等は今後市町と共有させていただきます。それでは、次第により進めてまいります。以後は座長に司会進行をお願いしたいと思います。三輪座長、よろしくお願い致します。

座長：それでは、私の方で議事を進めさせていただきます。円滑な進行に御協力をお願いします。では、早速ですが、配布資料にそって事務局からご説明をお願いします。

事務局： **〈配布資料の説明〉**

座長：ありがとうございました。説明内容を簡単に要約すると、兵庫県は全国と比較し受診率が低くエックス線検査による要精検率の水準が高いこと、胃がん検診全体のうち約17%が内視鏡検査であること等についてご説明いただきました。市町別では、前回の部会資料で要精検率が非常に高かった川西市については、今回ある程度是正されているものの、未だ許容値には達していないということでした。また、胃がん検診従事者研修会についても説明いただきました。委員の皆様からコメント等を

いただければと思います。

構成員：胃がん検診の受診状況の経年的な変化はどうなっているのでしょうか。

事務局：資料5にありますように、胃がん検診全体、及びエックス線検査の受診者数はH30年からR1年にかけて減少している一方、胃内視鏡検査については増加しています。今後も胃内視鏡検査を新たに実施する市町が増えてくることにより、受診者数も増えていくのではないかと考えています。

座長：ピロリ菌検査に関しては、兵庫県ではどのようにお考えですか。

事務局：行政としては、胃がん検診は国の指針で定められているエックス線検査または胃内視鏡検査であり、いわゆるABC検診についてはがん検診というよりは任意の検査という位置づけではないかと考えております。

座長：国の指針にはABC検診が入っていないのでしょうか。

事務局：参考資料に国の指針をつけておりますが、ABC検診は含まれていません。

座長：対策型検診以外に、人間ドック等、個人でがん検診を受けているケースもあると思いますが、そのあたりの実態把握はどうなっていますか。

事務局：市町が実施するがん検診の他には、職域によるものが多いと認識しています。県としては、協定企業との連携等を進めておりますが、受診状況の実態把握まではできておらず、今後の課題と考えています。

座長：県として独自にインターネットや電話等で実態調査をされると、今後の対策を立てやすいのではと思います。

構成員：胃内視鏡検査の受診者が全体の約17%ということでしたが、どこまで増やしていくかの目標値等はあるのでしょうか。また、胃がん検診従事者研修会についての話がありましたが、胃内視鏡検査の具体的な実施方法について県としての方向性等はあるのでしょうか。

事務局：胃内視鏡検査については県としての目標値は現時点ではありません。また、胃内視鏡検査の実施方法についても、実施主体が市町ということもあり、県として実施にあたっての支援等は必要であると考えておりますが、具体的な方法を指定しているわけではありません。

座長：次回の胃がん検診従事者研修会について、県からは当胃がん部会で講師の候補を出してほしいとのことでしたが、委員の皆様からはご推薦等がありましたらお願いします。特になければ私から提案しますが、1つは日本消化器がん検診学会での会長経験者等から精度管理や対策型検診に関するお話をお願いしてはどうでしょうか。もう1つは、現在では内視鏡AI検査が普及し始めていますが、将来に向けてそのようなお話もあってもいいのではないかと思います。いかがでしょうか。特に異論が無ければその方向で候補をあたってみます。

構成員：資料5について、明石市と高砂市はABC検診を行っているとのことですが、次回の部会ではそのデータ等をご提示いただければと思います。

事務局：ABC検診は現状国の指針に含まれていないため、あくまで参考資料となりますが、次回の部会で提示させていただければと思います。

構成員：明石市のABC検診に関するデータは医師会でまとめておりますので、必要に応じてご参考いただければと思います。

座長：県の立ち位置としては、今後胃内視鏡検査を普及させていくということなんでしょうか。

事務局：行政の立場としては、検査方法に優劣をつけるというよりは、現行の指針により推奨されているエックス線検査及び内視鏡検査の双方について今後もしっかりと精度管理を行う必要があると考えております。一方で、エックス線検査に用いる機器の老朽化による更新頻度が減っていると聞いておりますので、現実的には今後胃内視鏡検査にシフトしていくのではないかと感じています。

構成員：市町により、エックス線検査及び内視鏡検査を受診者が選択できる体制が整えば、今後受診率はあがっていくのではないかと感じています。

事務局：前回も議論にあがった川西市の要精検率については改善傾向にあり、がん発見率や陽性反応的中率は正常の水準にあるものの、許容値には達していないことから、ひとまずは許容値を目標にさせていただくことでよいでしょうか。

座長：改善傾向だということは委員の皆様も理解していただいておりますので、引き続き許容値を目標にさせていただければと思います。ある程度ご意見も出ましたので、この懇話会についてはこのあたりで閉じさせていただきます。事務局に進行をお返しします。

事務局：以上をもちまして本日の会議を終了いたします。皆様、長時間ありがとうございました。